

まえがき

農林水産政策研究所では、平成 25 年度よりプロジェクト研究「農業・農村の新たな機能・価値に関する研究」（平成 25 年度～平成 27 年度）を実施し、これまで見過ごされて評価されてこなかった農業・農村にある新たな価値を抽出し、評価する研究分析を行ってきた。このプロジェクトでは大きく 2 つの課題に取り組んでおり、1 つが農業・農村の多面的機能に留まらない農業・農村の新たな価値の抽出とその評価、もう 1 つはこれまで地域資源として農村地域にありながら、見過ごされてきたものの活用方策の提示とその効果の計測である。本プロジェクト研究資料は、このうち後者について、地域資源の活用方策の提示とその効果の計測に関する課題の成果をとりまとめたものである。

農村地域には森林資源、美しい景観や伝統的な風景といった観光資源など、さまざまな資源が賦存している。特に最近では、これまで農村地域の人々では気づかなかった地域資源の価値が都市住民などから認められ、多くの観光客が農村地域を訪れたり、それにより地域住民がその資源の活用を進めたりする事例も多数見られる。これらの事例は、農村地域の住民のみならず国民全体の生活に欠かせない役割を果たしていることを示しており、農村地域の貴重な資源をいかに有効利用し地域活性化に結びつけるかは、農村地域における最大の課題と言っても過言ではない。

本プロジェクト研究資料では、農村地域の地域資源のうちバイオマスのエネルギーに焦点を絞った上で、まず、資源賦存量・利用可能量の評価に始まり、バイオマスのエネルギー利用による環境や経済、さらには持続可能性への影響等を多角的に評価する手法を提示する。続いて、いくつかの事例において実際にその効果を計測した研究成果、加えて海外におけるバイオマスのエネルギー利用の取組についても紹介する。

本資料が農村地域における資源活用のための基礎資料として幅広い分野で活用されることを願っている。なお、新たな価値プロジェクトでは、本資料の他に 2 冊の研究資料を刊行している。新たな価値プロジェクト研究資料第 1 号、第 2 号についても、本資料と密接に関連する内容を含んでおり、併せてご覧いただければ幸いである。

平成 28 年 8 月

農林水産政策研究所
新たな価値プロジェクトチーム